

(取組の概要)

1 背景・ねらい

生徒の学習習慣定着を目的に平成 29 年度からスタートした。令和 3 年度の地域学校協働本部設置とともに地域学校協働活動推進員が配置され、元教員や地域の大学生に呼びかけ学習支援を実施。身近なロールモデルである大学生との交流から生徒の学習意欲向上を図ることをねらいとする。併せてこの事業に対する地域人材の参画をきっかけとし、地域と家庭と学校の持続可能なつながりや循環を整え、地域の教育力の向上を目指す。

2 対象校・対象者

瀬戸市立光陵中学校の参加希望生徒

3 実施教科

全教科

4 実施場所

光陵中学校図書室（地域図書館）

5 実施の形態

生徒の希望教科を大学生サポーターが個別指導

6 実施日・回数

8 月 8 回 午後 1 時 30 分～3 時 30 分

実施時間帯

2 月 5 回 午後 3 時～4 時 30 分（予定）全 13 回

7 登録人数

42 名（8 月現在）

8 参加人数(平均)

15 名

9 コーディネーター等の取組の様子

地域学校協働活動推進員が地域連携担当教職員と相談の上、会場の管理、出席者や支援状況の把握、大学生サポーターの援助等を行う。



(取組の結果・効果)

今年度から配置された地域学校協働活動推進員によって、参加生徒や大学生サポーターの入室時の手指消毒、体温チェックを徹底。また、少しでも体調に不安があれば無理をせず、参加を遠慮するよう事前をお願いしている。また、学習活動中は地域学校協働活動推進員が巡回しながら生徒の体調などを確認している。

参加生徒や保護者からは好評を得ており、来年度以降も継続してほしいという声が多く聞かれている。大学生サポーターの中には、教員志望の卒業生も含まれており、生徒と大学生双方にとって有益な事業となった。